

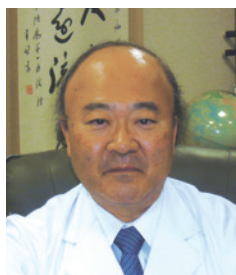
# 東京病院ニュース

## 第36号



発行元 独立行政法人 国立病院機構 東京病院  
〒204-8585 東京都清瀬市竹丘3-1-1  
TEL 042 (491) 2111 FAX 042 (494) 2168  
ダイレクト・イン・ダイヤル 042 (491) 4134  
ホームページ <http://www.hosp.go.jp/tokyo/>

## ごあいさつ —センター化に向けて—



国立病院機構東京病院長 大田 健

本年 4 月より独立行政法人国立病院機構東京病院院長を拝命して以来、早くも 3 ヶ月が経過致しました。就任時のごあいさつで、「現在の当院にはこれまでの歴史的背景を超えた役割が求められていると認識しております。」と述べ、結核診療における我が国の筆頭病院という使命を果たすとともに、現在の医療事情に合った地域の中核病院として、さらに充実した医療が提供できる体制を整えることをお約束致しました。そこで、その第一歩として、診療体制を 4 つのセンターにまとめて運用することに致しました。呼吸器センター、喘息・アレルギーセンター、消化器センター、総合診療センターです。また、このセンター化は、本号で各センター長が述べておりますように各診療科の連携を円滑にするとともに、各診療科の実力が存分に発揮できる体制の確立も視野に入れた方針です。受診される際に、症状から専門領域がはっきりしない場合は総合診療センターの総合内科がその受け皿として機能致します。喘息・アレルギーセンターを中心に呼吸器センターも一緒になって、現時点で約 1000 例の患者さんが受診されている喘息には、我が国で推奨されている最善の診療内容を推進致します。呼吸器センターと消化器センターでは、内科と外科とが協力して診療に最善を尽くします。さらに社会的なニーズを考慮して肺ドックと消化器ドックを開設し、専門家による健康管理の希望にお応え致します。10 月からは 2 次救急の受け入れも控えており、一層の変革を要する点もあろうかと思いますが、今後とも種々のプランを練って順次実行して参りたいと考えております。患者さんにとって快適で充実した医療を受けられる病院、職員全員にとって忙しくても気持ちよく楽しく仕事のできる環境を作り上げ、さらに東京病院が発展するように、引き続き全力で職責を果たす所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

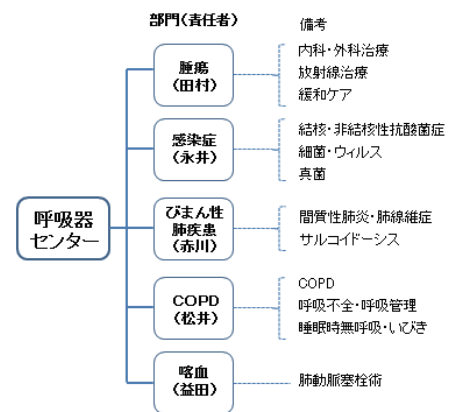


# センター紹介

## 呼吸器センター

呼吸器センター長 赤川 志のぶ

当院の呼吸器科は内科系だけでも300床、うち結核病棟は100床と都内随一の規模を誇っております。その特色をいかすべく2010年10月に「呼吸器疾患センター」を立ち上げ精力的に診療を行ってまいりました。今回(2012年7月)喘息・アレルギーセンター、消化器センター、総合診療センターの立ち上げを機に、私どもも「呼吸器センター」と名称を変えて更なる診療内容の充実を目指すこととなりました。当センターは疾患別に感染症、腫瘍、COPD、びまん性肺疾患、喀血の5部門に大きく分けられており、様々な呼吸器の病気に対応できます。初診の外来受け付け時間については14時までと延長し、患者さんのより受診しやすい体制にいたしました。予約なしでもOKですが、予め予約センターにて申し込まれるとよりスムーズです。また、7月からは新たに肺ドックを開設しました。これは肺癌やCOPD等、最近増加が問題となっている病気の早期発見を目指したた健診です。当センターでは検査の主軸となる気管支鏡の設備を今年には更に充実させて、診断力アップを図りました。治療については、呼吸器内科を中心に呼吸器外科・アレルギー科・放射線科・リハビリ科とも協力してあたり、それぞれの治療を迅速・適切に行っています。各部門間のカンファランスを積極的に行って、共通の認識のもと患者さんにとって最良の医療を提供することを心掛けています。緊急を要する喀血に対しては、トップレベルの気管支動脈塞栓術等、臨機応変な止血治療を行っています。3年前からは24時間の救急体制をしいており、急患を常時受け入れております。当センターにおかかりの方で急に具合が悪くなった場合には、時間帯によって変わりますが、主治医・新患当番医・当直医のいずれかに電話にてご相談ください。



## 喘息・アレルギーセンター

喘息・アレルギーセンター長 庄司 俊輔

### I. 喘息・アレルギーセンターの設立の経緯

東京病院でのアレルギー診療は、平成20年に新設されたアレルギー科を中心に行われてきました。アレルギー科では、現在1日平均20~30人の外来患者さんを診察しており、対象とするアレルギー疾患は、気管支喘息を中心として、花粉症、アレルギー性鼻炎、食物アレルギー、薬物アレルギーなど、多岐にわたっています。

さて、3月より田中好太郎先生が耳鼻咽喉科常勤医として診療を開始され、この4月からは、呼吸器・アレルギーの分野で国際的にも著名な大田 健先生が東京病院院長に就任されたのを機会に、喘息・アレルギーセンターを発足させることになりました。

### II. 喘息・アレルギーセンターでの診療

#### 1) 受診方法

アレルギー疾患は、非常に多くの臓器にまたがる全身的疾患であることが多く、症状も多彩です。どの診療科に受診するかを迷われる際には、まずアレルギー科への受診をお勧めします。なお、紹介状は必須ではありませんが、現在いずれかの医療機関にかかっている場合は、貴重な参考資料となりますので、是非受診されたところの先生の紹介状をご持参下さい。

(ご連絡は予約センター：042-491-2181または病院代表：042-491-2111まで)

#### 2) 外来時間

アレルギー科	月、水、木、金・・・午前	皮膚科	専門医師不在ですがご相談下さい
耳鼻咽喉科	月～金・・・午前、午後	院長外来	金曜午前(完全予約制)
眼科	月～金・・・午前		

新患は午前9時～午後2時まで受付。再診は原則予約制です。

(火曜日にはついてはスタッフ不在につき事前にご相談下さい)



## 消化器センター新設と消化器ドック開始のご案内

消化器センター長 元吉 誠

日本人の死因の第一位は、時代と共に、結核から脳血管疾患、そして癌へと変化しました。このうち消化器癌による死亡者数は、癌全体の死亡者数の50%を超えています。また、癌と並んで重要な消化器疾患である急性腹症は、現在でもなお診断や治療が遅れると、腹膜炎や敗血症、ショック、多臓器不全を合併し、致命的となることがあります。

胃の調子が悪いので胃薬を飲んでいたら良くなるので、専門病院を受診してみたら、胃癌が進行して全身に転移していた…お腹が痛いので痛み止めを飲んだがだんだん効かなくなり、救急車を呼んだ時には、急性虫垂炎が進行して穿孔性腹膜炎になっていた…決してひとごとでは有りません。どんなに大きな病気でも、最初は小さな症状から始まります。ちょっとした症状に気付いた時、すぐに専門医に相談できるかどうかで運命が決まります。

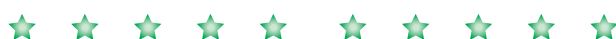
消化器は、食べ物を口からお腹に送る食道、食べ物を一時的に貯めておく胃、食べ物と消化液が混じり合う十二指腸、消化吸収をする小腸、水分を吸収する大腸、便を排泄する肛門、吸収された栄養を代謝する肝臓、肝臓で解毒された老廃物を腸に排泄する胆道（胆管と胆嚢）、消化液を作る膵臓と、たくさんの臓器から成り立っています。そして、それぞれの臓器に、癌やポリープなどの腫瘍、ピロリ菌や肝炎ウイルスなどの感染症、循環障害、潰瘍、ヘルニア、胆石、痔など様々な病気が生じます。

このように多様な消化器疾患に対する迅速で総合的な専門診療を、地域の皆様にご提供できるよう、当院ではこの度、11名の消化器専門医師（内科系5名、外科系6名）を中心に、消化器専門看護師、放射線科医師、リハビリテーション科医師、緩和ケア科医師、地域医療連携医師、臨床検査技師、栄養士、理学療法士、ケースワーカーらが連携してチーム医療にあたる、消化器センターを設立しました。

なんとなくお腹の調子が悪い、時々食べ物がつかえる、便に血が混じる事があるなどの症状が現れた場合は、すぐに、かかりつけの先生か消化器センターにご相談下さい。かかりつけの先生からご紹介頂く場合には、地域医療連携室へのお電話一本で、受診の予約をして頂けます。もしかかりつけの病院が無い場合には、直接、予約センターへお電話下さい。

一方、無症状のうちに見つかった癌は、症状が出てから見つかった癌に比べると、根治の可能性が圧倒的に高くなります。そこで消化器センターでは、ご自身のご健康を積極的に管理されている方々のために、消化器ドックを開始しました。ご自身のためにも、大切なご家族のためにも、癌の早期発見のため、1年に1度、消化器ドックを受診されることをお勧めします。

消化器センターと消化器ドックの詳細は、病院ホームページをご覧ください。



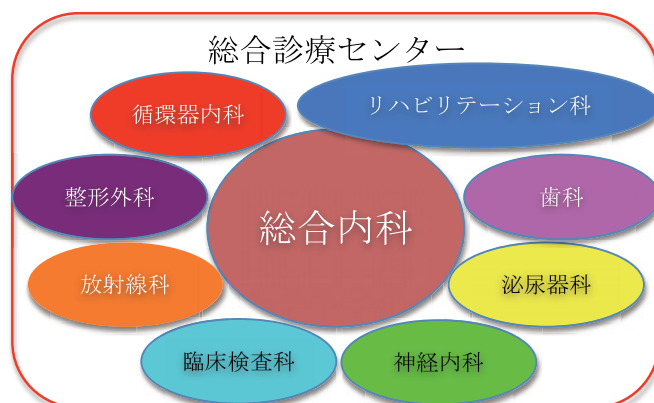
## 総合診療センター

総合診療センター長 相澤 仁志

東京病院の診療部門のセンター化にともない、呼吸器センターと喘息・アレルギーセンター、消化器センター、総合診療センターが設置されました。総合診療センターには総合内科、神経内科、循環器科、整形外科、放射線科、リハビリテーション科、泌尿器科、歯科、臨床検査科を含んでいます。患者様のニーズにこたえるため、各診療科の特徴を生かし診療の質の向上とともに効率化をはかります。

総合診療センターの最も大きな目玉は総合内科外来を創設したことです。総合内科診療の一層の充実を図るために平成24年7月から、平日8時半より14時までの初診受付を行います。対象患者様は専門外来宛の診療情報提供書を持参しない初診患者、当院の専門外来に必ずしも当てはまらない患者様の診療を主に行ないます。

各診療科もそれぞれの持ち味を活かし、今まで以上に患者サービスに努めて参りますので、患者様および各医療施設の方のご利用をお願いいたします。



## 新任の挨拶

### 看護部長に就任して



看護部長 小松崎 知子  
平成24年4月1日付けで千葉医療センターから配置換えで参りました。ちょっと開花が遅れた桜の花が美しい時期に就任しました。病院の裏側の入り口から管理棟までのアプローチは、

豊かな木々と草花、木漏れ日と鳥のさえずりに包まれ、毎日森の中を歩いているようなすがすがしさを味わっております。武蔵野の面影を残す膨大な敷地に建つ、品格のある重厚な建物の中で仕事ができる喜びを感じております。

新病院長も就任いたしました。医療現場における変革の風は激しく、医師、看護師等の人材確保と共に病院経営も厳しい状況にあります。リスタートプランによる経営改善、医療の質の向上、看護師確保、人材育成と多くの課題がございますが、病院の再生に向けて職員全員が同じ方向を向いて、力を集結することが求められております。

看護部門における変革のキーワードは看護サービスの質の向上と経営改善、そして、働きやすい職場環境の整備だと考えております。患者・家族、職員、学生に選ばれる病院を目指して、患者さんや家族、職員、学生に優しい環境、生き生きと職業継続できる環境作りに努め、全ての職員のライフサイクルやキャリア開発支援をしていきたいと考えております。皆様のご支援を得て、看護の質の向上および病院の発展に寄与するために、看護部長として役割を遂行して参りたいと思っておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願い申し上げます。

### 新任職員挨拶



臨床検査技師長 浅里 功  
4月1日付けで相模原病院より配置換えで参りました浅里です。武蔵野の面影が残り、医療施設として最適の環境にある当施設での勤務を希望しておりましたが、念願叶い勤務させて頂くこととなりました。微力ながら全力を尽くす所存です。

さて、臨床検査技師はあまり知名度のある職名ではなく、医師や看護師のようにテレビドラマに出てくることもありませんが、診断、治療、早期発見等に不可欠な情報を提供しています。また、私たちの業務は分野が広く、一人の技師が全ての検査に精通することはほぼ不可能です。そのため部門毎に専門の知識と技術を有した技師を配置しておりますが、皆様には今後も技師の育成に向けご指導等、よろしくお願いいたします。

臨床検査科の基本理念に「病める人の痛みを共に共有できる臨床検査技師であることが進むべき第一歩となる」と記されており、常に患者様の立場に立ち有用で質の高い検査情報の提供に努めたいと思います。最後に検査等でご不明な点はお気軽にスタッフに声をおかけ下さい。

### 新任の挨拶



企画課長 田中 孝一  
平成24年4月1日付けで関東信越ブロック事務所から配置換えになりました企画課長の田中ですどうぞ宜しくお願いいたします。

私の自宅は群馬県の伊香保温泉にあります。四方八方山に囲まれた寒さ厳しいところではありますが、春は6種類のつつじがトンネルを作り、夏は高山植物の夏花が咲き、秋は草木が紅葉し山が色とりどりに染められていきます。この様な環境で育って来ましたので、この度の転勤により、温暖な気候で木々に囲まれた環境の東京病院に勤務させていただくことを光栄に思っております。

東京病院との関わりはブロック事務所に勤務すると同時に始まりました。前院長の中島先生から、経営状況の分析や収支改善方策について依頼され、内部監査や経営指導、業務支援と何度となく来院させていただきました。

今の経営は厳しい状況にあります。しかし、病院の基本理念にもあります「医療を受ける人の立場に立って人権を尊重し、安全で質の高い医療を提供します。」を維持しつつ病床利用率の向上やコスト削減に努めなければならないと考えております。

今後は、今までの経験を生かし、皆さまとコミュニケーションを図りながら、日々研鑽し気持ちを引き締め業務に取り組んでいきたいと考えておりますので、ご指導・ご協力の程宜しくお願いいたします。

### 新任の挨拶



管理課長 水村 正明  
本年4月1日付けでがん研究センター東病院から、管理課長で参りました水村と申します。どうぞよろしくお願いたします。こちらの病院に来てまず印象的であったのが、敷地が広いと

いうことです。二昔ぐらい前に一度、東京病院に立ち寄ったことがありましたが、敷地の全体像までは解りませんでした。現在は立派な建物が立ち並び、敷地内の自然環境とも相まってすばらしい景観を醸し出しております。さぞかし入院されている患者さんは心安らいでいるに違いありません。私がこれまで居たがん研究センター東病院も高層の建物と平屋建ての緩和ケア病棟がありましたが、もう少し敷地があったらとつくづく感じておりましたが東京病院の環境のすばらしさにはただ脱帽するばかりです。さて、東京病院に赴任して、早速、本年取り組むべき課題が見えてまいりました。二次救急病院としての体制整備、災害拠点病院としての体制整備・施設整備、災害マニュアルの作成などです。さらには今年度からスタートするリスタートプランにより、経常収支率を100%以上にするためには皆様の御協力と計画の確実な実行が欠かせません。管理課長と致しまして微力ではございますが精一杯努力してまいりますので、どうかよろしくお願いを申し上げます。



## 耳鼻咽喉科新設のご案内

平成 24 年 3 月 1 日に、当院耳鼻咽喉科医長に着任しました、田中好太郎と申します。これまで当院の耳鼻咽喉科は、毎週火曜日午前中のみを、非常勤医師による交代で行ってきましたが、私が常勤医師として着任したことで、基本的に平日の午前中は毎日、外来診療を行うことができるようになりました。当院を受診される皆様のために、少しでもお役にたてることができれば、幸いです。



(電子スコープによる診療風景)

ここでは、耳鼻咽喉科を紹介するべく、本稿を草しております。自己紹介から始めさせていただき、「耳鼻咽喉科」という診療科の概要を説明し、最後に、当科の現状を紹介させていただきます。

### 自己紹介：

日本耳鼻咽喉科学会認定専門医の資格を保有しております。都内にある複数の高度専門医療機関に勤務し、数多くの症例を取り扱って参りました。もっとも得意とするのは、実は小児領域の感染症ですが、全般的に、広く深く診療する技量を身につけております。

### 耳鼻咽喉科の概要：

耳・鼻・のど・頸部の疾患を対象に、内科的治療から外科的治療までを行う外科系に属する診療科です。風邪や中耳炎、難聴、花粉症、めまい、扁桃炎といった一般的な病気から、音声障害、嚥下障害といった頭頸部の機能障害、さらには頭頸部癌といった専門的な治療を必要とする病気まで幅広い疾患を取り扱います。

### 当科の紹介：

当院は病床数 500 床を超える大病院ですが、耳鼻咽喉科医師は私一人ですので、小さい診療科です。診断と治療方針の決定までは、病院の高い機能の助けを借りて、高レベルで行うことが可能です。しかしながら、外科治療は医師によるチーム医療が必要になりますので、外科治療の可能性があると判断した場合には、手術が可能であり信頼のできる医療機関に御紹介することもあります。



(防音室と聴覚検査機器)

### 最後に：

当院にとって、当院を受診される皆様にとって、どのような耳鼻咽喉科が必要か、という問いの解答を、現在も模索しております。皆様のさまざまな御意見やアイデアを、お待ちしております。

## 地域医療連携医の紹介 ～当院と連携されている医療機関をご紹介します～

### 武蔵野総合クリニック

院長 下村 洋 先生

院長からの一言：「地域医療を充実・躍進させるために、今後もチャレンジしていきます。」

標榜科：内科、外科、整形外科、泌尿器科、小児科、小児外科、乳腺内科、病児保育、在宅医療  
〒204-0021 東京都清瀬市元町1-8-30

TEL 042-496-7015 【予約専用】：TEL 042-496-7200

#### 【診療時間／担当医日程】

	午前 9:00～12:00			午後 14:00～18:00		
	総合診療科	専門診療科	小児内科	総合診療科	専門診療科	小児内科
月	下村 青木	工藤 (整形外科) スポーツ ドクター	佐野	下村 青木	工藤 (整形外科) スポーツ ドクター	佐野
火	島 羽木	米田 (循環器)	佐野	島 羽木		佐野
水	青木 羽木	金川 (整形外科)	佐野 須藤 (予防接種) (乳児健診) ★要予約	下村 青木 羽木	金川 (整形外科)	佐野
木	菖蒲	池上 (整形外科)	真鍋	菖蒲	池上 (整形外科) 鈴木(啓) (脳外科)	真鍋 田中(奈) 17時～18時 (予防接種) ★要予約
金	下村 青木	松原 (循環器) 田中 (乳腺内科) ※1 工藤 (整形外科) スポーツドクター ★不定期です。 お問い合わせ ください。	佐野	下村 青木	松原 (循環器) 田中 (乳腺内科) ※1 工藤 (整形外科) スポーツドクター ★不定期です。 お問い合わせ ください。	佐野
土	下村 または 奥野	金川 (整形外科)	佐野 杉井	下村 または 奥野	金川 (整形外科)	佐野
日	下村 または 下高原	長谷川 (整形外科)	鈴木(淑)	下村 または 下高原	長谷川 (整形外科)	鈴木(淑)
祝	曜日 担当医		佐野			

※担当医が変更になる場合があります。  
詳しくはお問い合わせください。

お知らせ

★診察は予約優先となります。予約専用電話・インターネット・院内の再来受付機をご利用ください。

★小児内科の診察は17:00で終了となります。17:00以降は一般診察でご予約をお取りいただけます。

★土曜日と祝日は、小児内科の予約が取れませんので、一般診察でご予約をお取りください。

★水曜日午前の乳児健診と予防接種は、完全予約制です。当日の受付はおとりしてありませんので、ご了承ください。

※1 金曜日/工藤（整形外科）先生は不定期ですので、お問い合わせ下さい。

# 臨床研究部研究発表会

臨床研究部長 蛇澤 晶

5月29日に臨床研究部研究発表会が大会議室で開かれ、前年度までに行われた研究のうち各研究室長が選抜した演題（計8演題）が発表されました。また今回は、国際学会への参加演題も報告されました。

参加者は院長を含む111人に及び、終始なごやかな雰囲気では進行した一方、発表がすべて興味深いものであったため活発な質疑応答が行われ、最後に、優秀演題3題が院長賞・看護部長賞・臨床研究部長賞として表彰されました。

この発表会は、院内でどのような研究が実施されているかを職員に周知してもらうほか、院内多職種の方による集いを開くことにより、多方面からの研究を促すことも大きな目的としています。今後は、今回発表された医局・看護部・リハビリテーション科以外の人たちもドシドシ研究をし、この会で発表していただきたく思っています。

所属研究室	演 題	発表者
看護研究室	ゾレア治療を受ける気管支喘息患者の思い	石原 由美
同上	ICU看護師の心電図に対する苦手意識の改善を図る取り組み	宇山 晶子
薬理研究室	医療・介護関連肺炎（NHCAP）の臨床的検討	押谷 洋平
病態生理研究室	緩和ケア病棟におけるトイレ歩行に関する実態調査	工藤 由紀
同上	喀血患者に対する気管支動脈塞栓術前の64列MDCTによるCT angiography の有用性に関する研究	川島 正裕
細菌免疫研究室	慢性壊死性肺アスペルギルス症に対するリボソームアルムホテリシン B（L-AMB）の薬物動態および喀痰移行についての検討	鈴木 純子
生化学研究室	HCV genotype とその関連因子についての検討	上司 裕史
病理疫学研究室	NHOネットワーク共同研究 国立病院肺がん研究会（NHOSGLC）による肺癌登録・予後調査データベースの更新と保守管理	田村 厚久
国際学会発表報告	American Thoracic Society での発表演題	益田 公彦 赤司 俊介 佐藤 亮太



多職種の参加者



和やかな雰囲気での質疑応答



診療内容 病床数560床

- |   |                                  |   |   |
|---|----------------------------------|---|---|
| ○呼吸器センター  | ○喘息・アレルギーセンター                    | ○消化器センター  | ○総合診療センター                                     |
| ●呼吸器内科<br>●呼吸器外科<br>●リハビリテーション科<br>●放射線科<br>●緩和ケア内科 | ●アレルギー科<br>●眼科<br>●耳鼻咽喉科<br>●皮膚科 | ●消化器内科<br>●消化器外科<br>●リハビリテーション科<br>●放射線科<br>●緩和ケア内科 | ●総合内科<br>●循環器内科<br>●神経内科<br>●麻酔科<br>●臨床検査科    |
|   |                                  |   | ●整形外科<br>●リハビリテーション科<br>●泌尿器科<br>●放射線科<br>●歯科 |

肺ドック・消化器ドック始めました。

- |  |  |
|--|--|
| ○肺ドック<br>月～金 9:00～10:00 (1日2名)<br>料 金：26,250円 (税込) | ○消化器ドック<br>月～金 9:00～12:00 (1日2名)<br>料 金：50,400円 (税込) |
|--|--|

～お申込み方法・お問合わせ先～

予約センター：TEL 042-491-2181 受付時間：平日8:30～15:30

受付時間：初診 8:30～14:00 (消化器内科の月、金は12:00までの受付) 予約センター 042-491-2181  
再診 午前の診療 8:00～11:00 午後の診療 12:30～14:00 (受付時間平日8:30～15:00まで)

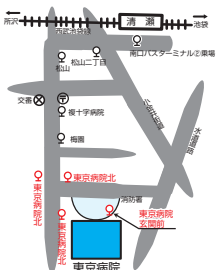
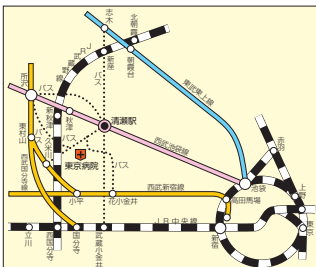
専門外来案内

専門外来名	診察日	このようなことでお悩みの方は、ご相談ください	
禁煙 (予約制)	火(午前)	タバコがどうしてもやめられない方。 (当院の禁煙外来は、平成20年1月より保険が適用となりました。)	
呼吸器 関係 外来	肺がんセカンド オピニオン (予約制)	木(午後)	肺がん治療についてのセカンドオピニオンを希望される方。 [1時間まで10,500円]
咯血 (予約制)	火(午後2時～)	咳をともなつて気道・肺から出血する状態を咯血といいます。肺アスペルギルス症、気管支拡張症、非結核抗酸菌症、肺結核、肺癌の患者さんにおこります。ご相談ください。	
間質性肺炎	水(午前)	この病気は「息切れ」と「から咳」がよくある症状です。 治療が難しく、膠原病に合併する場合もあります。	
非結核性抗酸菌症	水(午前)	咳や痰が出て、血痰があるなど一見結核にみえますが違います。 結核とそっくりの症状がこの疾病です。他人への感染はありません。	
いびき COPD (睡眠時無呼吸症候群の検査)	月～金(午前)	ご家族などから「いびきが大きい、長く続く」あるいは「ねている時に息が止まる」などと言われた方。COPDを疑われたり、COPD呼吸リハビリを御希望の方。	
ものわすれ外来	水(午後)	最近ものわすれのひどい方、アルツハイマー病などが心配な方。 (あらかじめ神経内科を受診して下さい。)	
高次脳機能外来	木(午後)	失語・失行や健忘などの診断、リハビリテーションへの紹介など (要神経内科外来受診)。	
肝 胆 脾	金(午後)	肝臓癌、胆嚢癌、胆管癌、膵臓癌や胆石症など、肝胆脾疾患の手術のご相談、お申し込み、セカンドオピニオン等に、専門の医師が対応いたします。	
地域リハビリ相談	木(午前)	連携医の先生方からかかりつけの患者様で、運動・言語・嚥下機能に問題があり、リハビリテーションをご希望の方。(かかりつけ医の情報提供書が必要です。)	

医療連携室よりお知らせ 患者様をご紹介いただく場合 (医療機関)

外来診療の予約：診療依頼書をFAX送信して下さい FAX 042-491-2125 (8:30～15:30)  
CT・MRI検査の申し込み：医療連携室へお電話下さい TEL 042-491-2934 (8:30～17:15)

交通案内



交通

- 西武池袋線 清瀬駅南口よりタクシー5分、または南口バス2番乗り場より久米川駅行・所沢駅東口行は東京病院北下車、下里団地行・滝山営業所行・花小金井駅行は東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR武蔵野線 新秋津駅よりタクシー10分、または西武池袋線に乗り換え。
- 西武新宿線 久米川駅北口より清瀬駅南口行で東京病院北下車。または花小金井駅北口より清瀬駅南口行きで東京病院玄関前下車。(早朝夜間など東京病院玄関前を経由しない場合があります。)
- JR中央線 武蔵小金井駅より清瀬駅南口行のバス路線があります。
- 東武東上線 志木駅南口より清瀬駅北口行のバス路線があります。
- お車で越しの際は正面よりお入り下さい。

(駐車場265台)  
30分以内 無料  
31分～4時間 1000円  
以後1時間毎 1000円  
(20時15分～7時 1時間毎3000円)

WEB検索

東京病院

検索





# 第1回 地域呼吸ケアの会

6月30日土曜日、第1回地域呼吸ケアの会が無事終了しました。  
訪問看護師さんから介護士・PT・OTなど、約30人程の参加がありました。

まず、松井先生から「酸素療法の最新の動向」について説明があり、当院でも今後採用予定の“ネーザルハイフロー”や5階西病棟で使用している“パーカッション・ベンチレーター”などの紹介がありました。

その後、酸素業者の方々から濃縮器や液体酸素の特徴に関する説明がありました。

- テイジンさんからは東日本大震災後から行っている震災対策や実際に行った震災時対応。
- テルモさんからは、バッテリーの機能や節電・火災対策。
- フクダライフテックさんからは、ボンベに代わり持ち運びできる小型サイズの濃縮器や濃縮器本体に付属しているSpO<sub>2</sub>モニターが日々の測定値・吸入している酸素量のデータを蓄積することができ、診療時に持参して医師が確認できるシステム等。
- メガケアさんからは液体酸素を親機から子機へ充填する際、力のない患者様でもできるようにするための方法。



- アトムさんからは、最新のカヌラについて。今までのカヌラと違う点は、カヌラが屈曲しても酸素の出る量が変わらず、素材も柔らかいこと、患者会の意見を取り入れて今までよりも目立ちにくいシルエットになっています。
- 当院の看護師からは、在宅酸素のクリニカルパスや患者教育に使用しているチェックリスト等の紹介と、チェックリストを地域に繋げていく方法を検討したいという内容で発表しました。
- 参加者のアンケート結果から、各社の最新機種の特徴がわかり仕事に役立てることができるといった意見も得られました。

次回は10月20日(土) 呼吸リハビリのテーマで行う予定です。

普段の患者ケアに役立てることができる情報もありますので、興味がある医師・看護師・PT・OTの方はぜひご参加ください。

